

《報道発表》

増加する子育て世代向けに、BOATRACE 振興会、戸田競艇企業団と協業しあそび場を開発  
BOATRACE 戸田場内に「BOAT KIDS PARK モーヴィ」が2月8日オープン  
年齢・発達に応じたゾーニングで、「頭・こころ・体」をフル稼働して遊べる、全天候型あそび場

子どもの健やかな成長に「あそび」を通して貢献することを目指し、教育玩具・遊具の輸入・開発・販売とあそび場づくりを行う株式会社ボーネルンド(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:中西弘子)は、BOATRACE 振興会、戸田競艇企業団と協業し、埼玉県戸田市の「BOATRACE 戸田」場内にあそび場施設「BOAT KIDS PARK モーヴィ」を開発しました。当施設は、2019年2月8日(金)にオープンする予定です。

子どもが遊べる施設づくりで地域貢献 … BOATRACE 振興会、戸田競艇企業団とボーネルンドが協働

公園の遊具撤去・あそび制限などから、子どもが存分に体を動かして遊べる環境が減少している昨今、子どものあそびを保障すべく、当社は全国21ヶ所で、親子の室内あそび場施設「キドキド」の開発・運営を手掛けており、年間約277万人以上の親子にご来場いただいています。「キドキド」は、“走る・回る・跳ぶ”などの多様な体の動きができるよう設計されたアクティブエリアと、創造あそびに集中して取り組めるエリアが一体となり、“こころ・頭・からだ”のすべてを使って楽しめます。さらに、常駐する「プレイリーダー」が子どもの発達や興味に合わせたあそびを提案し、あそびの発展を促します。



こうした当社のあそび場開発・運営ノウハウを地域貢献に活用すべく、この度、BOATRACE 振興会と協業する運びとなりました。BOATRACE 業界は、収益金を地方自治体や地方公共団体金融機構などに分配しており、その資金は学校設備の整備、水質浄化研究、伝統文化の保護などに活用されています。しかしながら、公益事業として地域住民の身近な施設でありたいという BOATRACE 業界のミッションに対し、ボートレース場は、これまでは特に子育てファミリーにとっては身近とは言い難い存在でした。

BOATRACE 振興会はこれを打破し地域に貢献する公益活動を推進するためあそび場開発に取り組むことを決定。当社でも子どもが存分に能力を発揮して遊べる場を全国に増やしたいと考えており、協業を決定しました。まずはファミリー層の流入が続く戸田市にある BOATRACE 戸田にあそび場をオープンします。子どもが日常的に思い切り心身を動かせ、親子同士の交流も促し、結果として地域の子どもが心身ともに健やかに成長できる場です。今後も BOATRACE 振興会と当社は、ボートレース場を「地域に開かれた場所」とするべく、子どもが遊べる施設の設置検討を推進してまいります。

BOATRACE 戸田「BOAT KIDS PARK モーヴィ」多様な体の動きを促すあそびで、心身の成長をサポート



■ BOAT KIDS PARK モーヴィ

- ・面積: 約 955 m<sup>2</sup>(屋内 738 m<sup>2</sup>、屋外 217 m<sup>2</sup>)
- ・オープン: 2月8日(金)
- ・運営管理: 戸田競艇企業団
- ・利用料金:
  - 平日: 子ども一人 300円、大人一人 300円
  - 時間制限なし
  - ※レース開催日は大人一人 200円
  - 土日祝日: 70分完全入替制
  - ① 10:00~11:10
  - ② 11:30~12:40
  - ③ 13:00~14:10
  - ④ 14:30~15:40

BOATRACE 戸田がある埼玉県戸田市は、「埼玉県地域子育て応援タウン」としての認定を県内で初めて得るなど、子育てサポートが充実しており、また都心部へのアクセスの良さも評価され、ファミリー層を中心に人口流入が進んでいます。

こうした状況を受け、親子世帯がより住みやすい街づくりを応援するため、子どもの健やかな成長に貢献するために、当社と BOATRACE 振興会と戸田競艇企業団は、BOATRACE 戸田の敷地にあそび場施設を開発しました。完成したあそび場「BOAT KIDS PARK モーヴィ」には、当社が「キドキド」で蓄積したノウハウを凝縮。子どもたちがあそびの中で自然に、走る・回る・跳ぶ・掴む・登るといった多様な体の動かし方ができるよう設計しました。

### 年齢別ゾーニングの屋内遊び場と、屋外エリアからなる、体を思う存分動かして遊べる設計

「BOAT KIDS PARK モーヴィ」は、幅広い年齢の子どもたちがバリエーション豊か、かつ安全に思う存分遊べるよう、「ベビーエリア(0～3歳)」、「中年齢エリア(3～6歳)」、「高年齢エリア(5～12歳)」の年齢別にゾーニングし、ゾーンごとに設置遊具や設計を工夫しています。

「ベビーエリア」は、人工芝のマットを敷き、ウレタン製の小山やトンネル、ブランコなどを設置。ハイハイで動き回る赤ちゃんが、手のひら・足の裏から普段は感じられない感触を感じながら、つかまり立ちやよじ登る、くぐる、揺れるなどの動きを安全に楽しめます。

「中年齢エリア」は、緩やかな高低差のある導線に、斜面や段差を登り降りしたり、縦回転・横回転の動きで遊べる遊具を配置しています。登る・回る・バランスを取るなどの多様な動きを、自然とあそびの中で体感することができます。

「高年齢エリア」には、最大 130cm の高低差のアスレチック導線が、エリア全体にめぐらされています。ジャンプして宙吊りの遊具を掴み、ぶらさがったまま移動する、走って勢いをつけ傾斜を駆け上がるなど、難易度の高い動きが要求されるあそびを揃え、子どもの挑戦心を刺激します。

また、0～12歳対象の屋外エリア「サンド&ウォーターエリア」には、組み立てる大型ブロック遊具や滑り台の他、水を汲み上げるポンプの遊具や砂場を設置。屋根のかかったピロティ空間で、雨の日でも水遊び・砂遊びをはじめとした外遊びが楽しめます。他にも、全年齢対象の『ラウンジエリア』は、絵本ライブラリー・おままごと遊び・ブロック遊びなどが揃い、子どもの発達や興味に沿ったバリエーション豊かなあそびを提供し、子どもの心身の成長をサポートします。

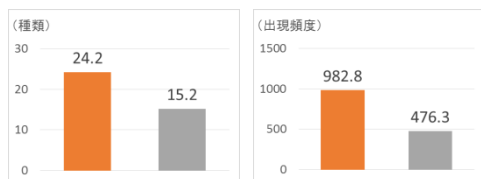


## 当社あそび場施設の運動効果について

人間の体の動きは図(右下)の 36 種類に分類できるとされています。当社のあそび場施設では、たくさんの動きを促す環境づくりとプレイリーダーによるあそびの提案によって、これらの体の動きの種類・出現頻度が通常保育よりも突出して高いことが証明されています。45 分間のあそびで平均 24 種類以上の動きを体験でき、また跳ねる・転がる・くぐるなどの動きの出現頻度は約 2 倍で、効果的に体を動かして遊べることが分かっています。

### 運動効果の実測データグラフ

※総務省 IoT サービス創出支援事業における実証結果(2018 年 8 月)



動作の種類  
動作の出現頻度  
橙：ボーネルンドのあそび場施設 黒：通常保育

36の基本的な動き



### 【ボーネルンドについて】

ボーネルンドは、あそびを通して子どもの健やかな成長に寄与するため 1981 年に設立し、一貫して“あそびの道具と環境”を提供する事業を展開。一般家庭へ向け、子どもの成長に必要な生活道具としての“あそび道具”を提案、全国 78 ヶ所で店舗を展開しています。同時に幼稚園や保育園、公園などに高品質な大型遊具や教育道具の提供を含めたあそび環境の開発を行っており、現在までに手掛けた実績は国内約 3 万 5 千ヶ所まで拡大しています。また、2004 年からは、子どもが遊ぶ機会を増やすために、親子一緒に様々なあそびを体験できる屋内あそび場「キドキド」事業をスタート。全国 21 ヶ所、年間約 277 万人、「キドキド」のノウハウを取り入れた地方行政の屋内あそび場を含めると全国約 30 ヶ所、年間 350 万人以上の親子が訪れています。

#### 【報道関係の方のお問い合わせ先】

株式会社ボーネルンド 広報室  
担当：村上

TEL：03-5785-0860、080-5901-3591

e-mail [public-relations@bornelund.co.jp](mailto:public-relations@bornelund.co.jp)

#### 【一般の方のお問い合わせ先(ご掲載用)】

株式会社ボーネルンド

TEL：0120-358-518(月～金 10:00～17:00)